

・入学状況

(1) 募集方法(アドミッションポリシー等)

本学ではA0入試は未だ実施していないが、本学独自の募集方法として、それに類似したアグリーメント入試を実施している。これは本学の建学の精神である「教育は徳なり」とともにオープンキャンパスや入試説明会、高校訪問時に説明し周知を図っている。その内容は以下の通りである。

1. 本学の教育方針に共感できる人
2. 本学で学ぶ目的が明確な人
3. 本学の4年間で自分を高めたい人
4. 本学で学ぶために残された高校生活を有意義に過ごせる人
5. 将来の明確な目標を持っており、それを具体化するために努力のできる人

【目標】

1. 多様な個性をもった学生を確保する

学生募集における基本目標は、本学の教育内容と入試制度を志願者に周知徹底し、進路選択を整備することにある。適切な多様性の確保という目標は多様な学生を本学に迎え入れ、それぞれの個性に応じて各学部学科で所定の教育内容を修得してもらう。「教育は徳なり」という建学の理念を実現するためである。

2. 一定数の学生を確保する。

一定数の学生の確保は大学運営上、定員枠は充足する必要がある。多様な学生の確保のためにも定員枠の入学者が必要となってくる。大学全体および各学部学科の学生収容人員と在籍学生数、入学定員と入学者数の比率の適正水準にたえず注意を払いながら、適切な学生数の確保を目標とする。

3. 一定資質の具備した学生を確保する。

大学教育に対応しうる能力をもった学生を入学させるため多様な判定基準を設け、学力試験で資質を判定する一般入試、課外活動等を多面的に評価する公募推薦入試、意欲と適正を重視するAE(A0型)入試を適切に実施している。

以上の多様性の確保、一定の量と質の確保という学生の受け入れ方針を実現するために、多様な評価基準を適用する複数の入試制度を工夫するだけでなく、大学情報を広く志願者に周知する学生募集の実施、入試に向けた万全の全学的な組織体制の構築、入学者選抜基準すなわち合否判定基準の透明性の維持、入試選抜の公平性・妥当性の保障などを実現目標にしている。さらには、推薦入試制度において、一定の質の学生を確保するために、高等学校や日本語学校と信頼関係を維持している。

学生募集および入学者選抜に関する事項は、入試委員会で審議・決定され、大学運

営委員会および各学部教授会の承認のもと事務局入試課で実施されている。

【現状報告・自己点検・評価】

少子化の影響を受け本学でも年々志願者が減少している。志願者確保のためには、入試広報・入試日程・試験科目だけではなく、入学後の教育内容も検討されなければならない。志願者は志望大学全体のイメージ、すなわち志望学部学科・教育・研究・交通の便・奨学金・大学設備等総合的に判断して受験を決定している。学生募集については、高校生・高校教員・予備校・塾の教員に対し本学の教学研究を理解してもらえよう周知に努めている。平成 21(2009)年度入試募集実績は下記のとおりである。

進学説明会

本学主催、団体主催、高校主催、広告代理店主催による大学・短大・専門学校との合同で、高校生・保護者・高校・予備校・塾に対し直接相談に応じている。

- ・本学が主催する進学説明会（2回）
- ・京阪神私立大学入試広報懇談会が主催する進学説明会（3回）
- ・高校が主催する模擬授業（1回）
- ・広告代理店が主催する模擬授業（10回）
- ・広告代理店が主催する進学説明会（38回）
- ・広告代理店が主催する頒布会（28回）
- ・学内見学（51人）

広告

各種新聞・受験雑誌等に広告を掲載することで大学の知名度を高めている。昨年度は交通広告を採用して一定の反応があった。

- ・新聞広告（33回）
- ・受験媒体誌（10誌）
- ・交通広告（1企画）
- ・看板（5看板）
- ・WEB 広告（3企画）

オープンキャンパス（6回）

本学の教育実績を高校生・保護者に周知徹底するために6回実施した。各種イベントと併せてAE（AO型）入試面談を同時実施した。

- ・教職員による入試説明会
- ・AE（AO型）入試面談
- ・学部、学科別相談会
- ・就職相談会
- ・奨学金・女子寮相談会
- ・体験型の模擬授業、実習参加授業

- ・クラブ活動見学
- ・学食体験・お茶会・大津絵展示
高校訪問（657校）

大阪府中心に兵庫県・京都府・奈良県・和歌山県の高校・予備校・塾を訪問し、主に進路担当教員と面談している。また大学概要・入試・教育・就職の情報について意見交換をし、当該高校卒業した本学在学生の近況を伝えて意思疎通を図っている。

- ・大学・学部・学科・コース
- ・入試に関する事項
- ・具体的な個別相談
大学広報紙（学内報「知の柱」）

本学の教育成果・研究内容・学生活動・併設校関連ニュース等を掲載した学内報を年間4～5回発行して、全国の高校・教育委員会・資料請求者および在學生に配布している。

本学の募集活動は、前年度の各種実績を基に、次年度の年間計画（進学説明会の実施方法、オープンキャンパスの回数、開催時期、企画、実施方法等）が入試委員会で審議・検討され、大学運営委員会・各学部教授会の承認を経て適切に実施されている。本学への関心を高めてもらえるように高校訪問ではオープンキャンパスを話題にあげ、大学案内では伝えきれない本学の特長を高校に伝えるよう努力している。また進学説明会にも積極的に主催または参加して、本学の教育内容を紹介している。

表1 オープンキャンパス来場者

	2006年度	2007年度	2008年度
実施回数	6回	6回	6回
男子来場者	360	341	315
女子来場者	116	145	305
保護者	198	201	332
合計	674	687	952

表2 入試実施結果

学部	学科	区分	2006年度	2007年度	2008年度
看護学部	看護学科	募集定員		80	80
		志願者		185	262
		合格者		126	149
		入学者		86	119
		歩留り		68.3%	79.9%
		定員充足率		107.5%	148.8%
人間学部	心理学科	募集定員	100	100	100
		志願者	154	126	88
		合格者	132	99	82
		入学者	110	82	61
		歩留り	83.3%	82.8%	74.4%
		定員充足率	110.0%	82.0%	61.0%
	人間文化 学科	募集定員	140	140	140
		志願者	318	280	193
		合格者	264	224	167
		入学者	218	184	148
		歩留り	82.6%	82.1%	88.6%
		定員充足率	155.7%	131.4%	105.7%
総合経営学部(経営学部)	経営情報 学科 (現代ビジ ネス学科)	募集定員	60	60	120
		志願者	108	65	76
		合格者	100	55	71
		入学者	77	45	57
		歩留り	77.0%	81.8%	80.3%
		定員充足率	128.3%	75.0%	47.5%
	経営経済 学科	募集定員	60	60	
		志願者	84	53	
		合格者	75	43	
		入学者	57	30	
		歩留り	76.0%	69.8%	
		定員充足率	95.0%	50.0%	
合 計	募集定員	360	440	440	
	志願者	664	709	619	

	合格者	571	547	469
	入学者	462	427	385
	歩留り	80.9%	78.1%	82.1%
	定員充足率	128.3%	97.0%	87.5%

看護学部看護学科は平成 19 (2007) 年 4 月開設

学部名・学科名変更

平成 18 (2006) 年度、19 (2007) 年度は総合経営学部 経営情報学科・経営経済学科

平成 20 (2008) 年度からは経営学部 現代ビジネス学科

オープンキャンパス来場者数は平成 20 (2008) 年度をピークに増減がある一方、志願者は漸減している。

高校訪問とオープンキャンパスを連携させた活動は一定の効果があったと思われるが、志願者を増加させるにいたっていない。

【課題】

前年度の実績を基にして広報・募集活動の工夫・改善を図る。具体的には、オープンキャンパスの企画の改善。高校訪問の充実。高校訪問は時間・距離・高校密集度の制約から大阪府中心となっている。今年度は、看護・スポーツ・観光・ビジネスをキーワードにして本学の魅力を紹介していく。さらに今年度から高大連携を開始し、近畿地方を中心に出張授業を各高校に提供していく。本学教員の研究内容が充実したものであることを周知し、志願者囲い込みを図っていく。

(2) 選抜方法

【目標】

- 1 . 本学の理念・目的と学部学科の教育目標に対する理解、または関心をもった学生に対して多様かつ複数の入学選抜方法を設ける。
- 2 . それぞれ入学者選抜方法による受け入れ方針を明確にし、広報の充実を図るとともに適正な入学志願者を確保する。
- 3 . それぞれ入学者選抜方法に沿った公正、かつ適切な入学者の選抜を行う。
- 4 . 学生収容定員に配慮した入学および編入学許可を行うとともに、著しい定員超過や欠員が生じないように計画的に受け入れる。

【現状報告】

入試委員会は各学部学科の教育理念に沿った学生を受け入れるため、入試日程をはじめ入学者選抜実施方法を審議・検討し、大学運営委員会・各学部教授会の承認を経て実施している。入学者選抜方法は、 AE (A0 型) 入試、 協力指定校推薦入試、

公募推薦入試、一般入試、社会人特別入試、大学入試センター試験利用入試、外国人留学生入試、編入学入試、自己推薦入試、⑩資格優遇推薦入試があり、それぞれ下記の方針と内容によって実施している。

AE（AO型）入試

本学のAE（AO型）入試は、主体的に学ぶ姿勢をもち、なにごとにも失敗をおそれずチャレンジしようとする精神の旺盛な人間を選抜する。選抜方法は、基礎学力だけではなく、本学の建学精神およびアドミッションポリシーに適合しているかどうかを判断するために面接を重視している。アドミッションポリシーは下記のとおりである。

1. 本学の教育方針に共感できる人
2. 本学で学ぶ目的が明確な人
3. 本学の4年間で自分を高めたい人
4. 本学で学ぶために残された高校生活を有意義に過ごせる人
5. 将来の明確な目標を持っており、それを具体化するために努力のできる人

協力指定校推薦入試

協力指定校推薦入試は、高等学校における学習やスポーツ活動が優れていると認められるものを選抜する。この入試は、各学部学科の目的と教育目標に適合した者を確保するための入試と位置付けている。

公募推薦入試

公募推薦入試は、高等学校長に推薦された者を対象とし、学科試験と調査書と面接の総合判定する入試である。

一般入試

一般入試は、各学部学科の教育に必要な基礎学力を備えている者を選抜する。この入試は、学習面において優秀な学生を確保する入試と位置付けている。

社会人特別入試

社会人特別入試は、各学部学科の教育目的に合致する社会人を選抜する。この入試はさらに一般教養・専門知識を身につけたい社会人に門戸を開くための入試と位置付けている。23歳以上で職務経験2年以上有する者を対象として実施している。

大学入試センター試験利用入試

大学入試センター試験利用入試は、一般入試と同様に各学部学科の教育に必要な基礎学力を備えている者を選抜すると同時に全国から広く受験しやすくする意図がある。

外国人留学生入試

外国人留学生入試は、対象学部学科の教育に合致する外国人を選抜する入試と位置付けている。日本留学試験の「日本語」科目を受験した者に限る。この入試は作文

と面接で日本語能力と学習意欲を確認している。

編入学入試

編入学入試は、62単位を一括認定することで3年次に編入する入試で各学部学科の教育目的に合致する者を選抜する。この入試は、より高度な専門分野の向上をめざす者に門戸を開く入試と位置付けている。

自己推薦入試

自己推薦入試は、課外活動、社会活動、生徒会活動等を通じて自己をアピールできる者を対象とした入試である。

⑩資格優遇推薦入試

資格優遇推薦入試は、簿記・語学・珠算・情報・福祉・秘書・ビジネス他の取得等級を得点化した点数、調査書と面接で判定される入試である。

【自己点検・評価】

多様な学生を受け入れることにより大学の活性化を図ってきた。従来からのAE入試に加えてA0入試導入を検討している。学力保障の観点から「協力指定校入試」「AE入試」「A0入試」合格者には「入学前準備教育」を受講させることを検討している。勉学意欲に満ちた社会人は積極的に受け入れていく。在学生に刺激を与え、学内を活性化が期待でき、また生涯学習の推進につなげることができる。外国人留学生入試には授業料減免制度があり、受け入れに力を入れ、入試日程を2回設けている。

【課題】

大学全入時代を迎えており、大学が入学者を選別することは難しい時代になっている。

問題は、入学者の確保と学力水準の確保である。学力水準を確保するために受験科目数を増やすことも考えられるが、受験生の動向から入学者の確保に直接影響すると考えられるため実施出来ていないのが現状である。本学の特色を活かしつつ受験しやすい日程と受験科目については、今後とも審議・検討していくことにしている。